

田村市指定有形民俗文化財

えま ばんじょうき ばむしや ず 絵馬「盤上騎馬武者の図」



田村市大越町牧野字堀ノ内地内に所在する見渡神社は、昔、京都御渡山に鎮座する御渡大権現の霊璽（れいじ）を笈（おい）の中に入れて、諸国を巡礼していた六部（ろくぶ）が逗留した地に、里人が神祠（しんし）を作ったのがそのはじまりとされています。

社殿内に享和3（1803）年銘、たて62cm、よこ55cmの絵馬「盤上騎馬武者の図」が奉納されています。絵師は不明ですが、小栗判官にまつわる有名な話を題材にした、碁盤の上に人馬が一体となって立つという、非常に困難な、至難の業の達成成就を願い奉納されたものです。